

船舶事故等調査報告書

平成23年5月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010長第81号	
事故等種類	運航不能（燃料不足）	
発生日時	平成22年7月12日（月） 15時33分ごろ	
発生場所	長崎県佐世保市佐世保港 佐世保港弁天島灯台から真方位075° 500m付近 （概位 北緯33° 08.8′ 東経129° 43.3′）	
事故等調査の経過	平成22年8月18日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	旅客船 ふえにつくす、68トン	
船舶番号、船舶所有者等	129045、美咲海送有限会社	
乗組員等に関する情報	機関長、四級海技士（機関）	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか2人が乗り組み、乗客11人を乗せ、平成22年7月12日15時33分ごろ、入港のため佐世保港内を航行中、機関出力が低下したので、船長が両舷主機のクラッチを中立とし、機関長が、機関室へ急行したところ、左舷主機が停止し、燃料サービスタンクが空になっているのを認めた。</p> <p>機関長は、燃料移送ポンプを運転して燃料を燃料サービスタンクへ移送したが、燃料油系統のエア抜きに時間を要するので、左舷主機の運転再開に時間を要すると判断し、船長にえい航を進言した。</p> <p>船長は、運航管理者に本船のえい航を依頼し、本船は、会社所属船によってえい航され、16時10分佐世保港 鯨瀬^{くじらせ}ふ頭浮棧橋に着棧した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北東、風力 2</p> <p>海象：海上 平穏</p>	
その他の事項	<p>機関長は、本インシデント当日の08時半ごろ、陸上から燃料を積み込む前に、燃料移送ポンプを手動で運転して燃料サービスタンクを満タンにしたが、停止後、手動から自動への切替えを失念した。</p> <p>機関長は、出港前と出港後に機関室内を巡視していたが、燃料サービスタンクには油量が十分あると思い、油面計を見ていなかった。</p> <p>操舵機油圧ポンプは、左舷主機によって駆動されていた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、佐世保港内を航行中、機関長が燃料移送ポンプを手動から自動への切替えを失念していたことから、同ポンプが自動運転されず、燃料サービスタンクが空になり、左舷主機へ燃料が供給されなかったものと考えられる。</p>

		機関長は、燃料サービスタンクの油量点検を適切に行っていなかった可能性があると考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、佐世保港内を航行中、機関長が燃料移送ポンプを手動から自動への切替えを失念していたため、同ポンプが自動運転されず、燃料サービスタンクが空になり、左舷主機へ燃料が供給されなかったことにより発生したものと考えられる。	